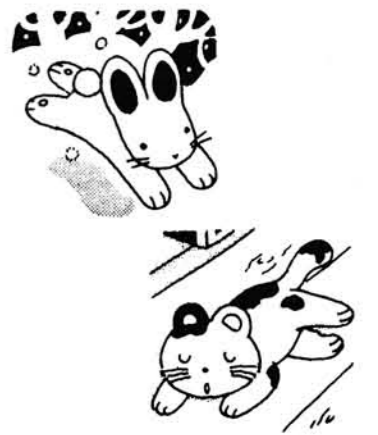
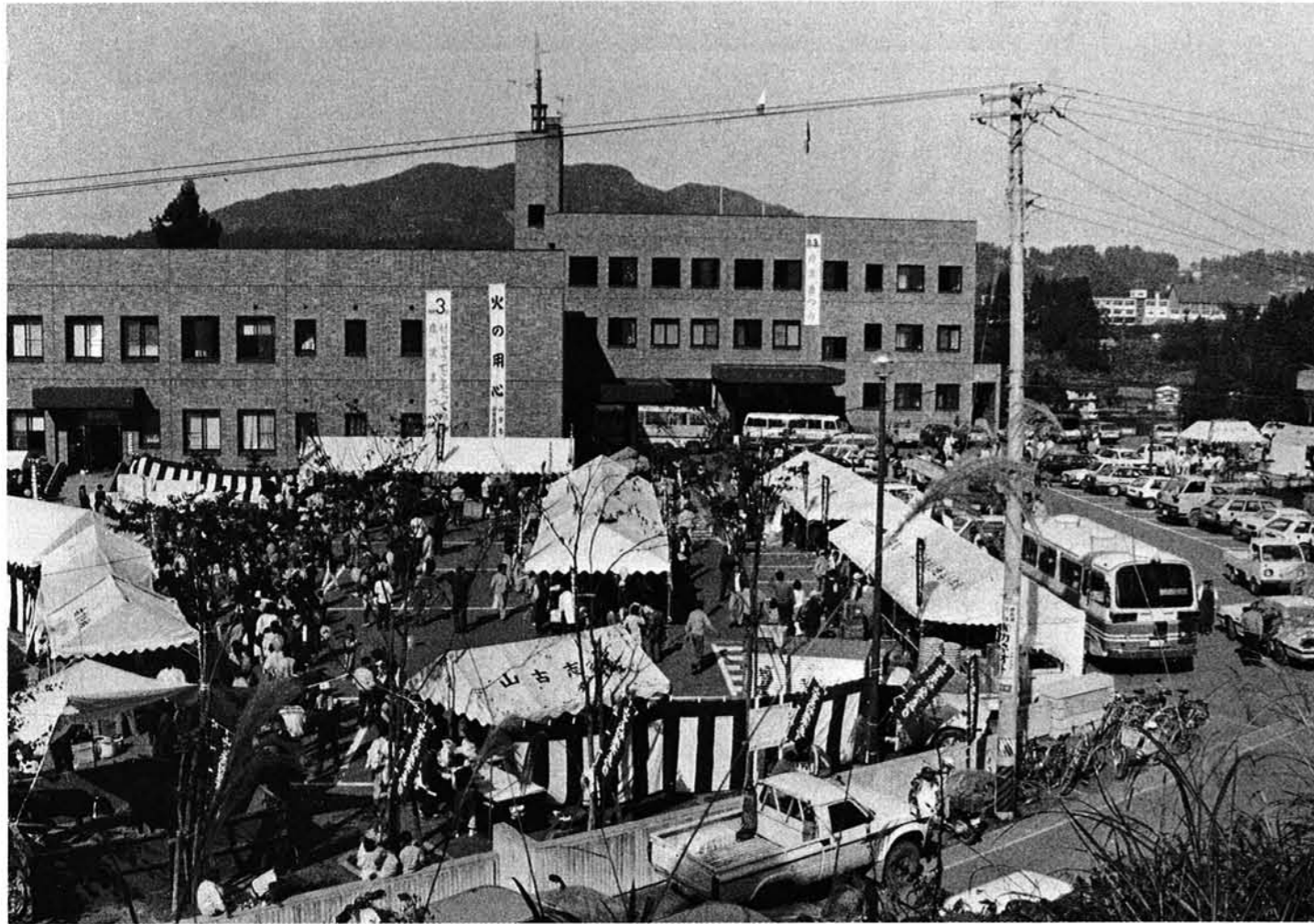


広報 やまこし

1986
12月
第222号

発行/山古志村役場 947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461 ☎(0258)59-2330代 ■編集/総務課 ■印刷/大川印刷株式会社 ■12月1日発行



お知らせ

小川隆正

(敬称略)

保育所入所 申し込み受付 (62年度分)

来年度(六十二年)の、保育所入所希望児童の申し込みを受け付けます。希望者はお申し込みください。

▽対象者
家庭で保育をする両親や祖父母等が、就労・病気などにより、保育ができず、保育所入所を希望する人。

▽受付期間
十二月一日～十五日

▽申込場所
種芋原中学校の生徒が、税に関する標語に応募し、二年生の榊沢博文君(一義さん方)が関東信越国税局長賞・佳作に入賞いたしました。

種芋原中学校の生徒が、税に関する標語に応募し、二年生の榊沢博文君(一義さん方)が関東信越国税局長賞・佳作に入賞いたしました。

・役場(住民課)
・出張受付
12月10日(水) 種芋原保育所
12月11日(木) 虫 亀保育所
12月12日(金) 竹 沢保育所
※申し込みには、印鑑と保険証を持参ください。申込用紙は、役場・保育所にあります。

納めてすみよい 国づくり

種芋原中学校の生徒が、税に関する標語に応募し、二年生の榊沢博文君(一義さん方)が関東信越国税局長賞・佳作に入賞いたしました。

12月の 納税・保険料

- ★固定資産税(3期)
- ★国民健康保険料(5期)
- ★国民年金保険料(5期)
- ★保育料(12月分)

極左暴力団の 根絶を

極左暴力団とは、世間をにぎわしている中核派等のこと。我が国の民主主義体制を暴力によって転覆させようと過激な闘争を行っています。爆発、放火、ケール切断等の無差別なテロ、ケール切断で国民生活に大きな不安を与えています。

このため警察では、極左暴力団の根絶に全力を挙げています。不審な人や車を見かけたら、すぐに警察へ通報してください。

健康相談

期日	会場	時間
12月17日(水)	大谷地所	10:00~11:30
	上村担い手センター	1:30~3:00
12月18日(木)	虫亀集落センター	10:00~11:30

献血にご協力 ありがとうございました



11月7日の献血で、次の73人からご協力いただきました。(敬称略)

○印は400cc採血者

竹 沢

星野丑松 関 稔 大沢愛子
高野キユ 佐藤敏子 ○星野清剛
川上敏郎 星野加代子 星野信一
○高橋武俊 星野一三 ○小川勝行
関 幸雄 星野フジエ ○佐藤雅俊
高野秀明 星野真砂子

虫 亀

西原たき子 ○酒井省吾 齊藤ハル子
長島世津子 佐藤文平 五十嵐なつ子
西原和徳

種芋原

草間綾子 小川藤雄 坂牧イミ
○川上清吉 ○草間頼雄 長谷川美恵子
草間幸喜 坂牧由紀子 金内由美子
榊沢和幸 ○稲田清二 清田 亨
坂牧春幸 小川 清 小川善幸
小沢和之 坂牧滝衛 榊沢益弘
坂牧正人 坂牧吉章 風間真由美
榊沢かずみ 川上佐緒里 小川江里子
佐藤美晴 榊沢政子 小幡清美
榊沢美由紀 榊沢和子 諸橋朝代
小幡フミ 中島文男 加藤秀晴
佐藤忠史 小幡正夫

東竹沢

小川喜太郎 高野 進

南 平

五十嵐正栄

村 外

○平沢むつ 森山さとみ ○星野美佐枝
○影山勝弘 小林梅野 菊入 淳
石原十八 榊沢志信 山内義雄
佐藤鉄也 松井栄一

秋晴れの中 にぎわいました

まつり

産 業

青空 ポカポカ 子供大人 男女混雑 風船 わたあめ
ニコニコ 山いも レンコン 米 マンガ本 もちつき
粟もち さつまいも 大根 小豆 大豆 白菜 野沢菜
しいたけ なめこ くるみ くじ 牛肉 牛乳 牛井
栗 柿 人参 民芸品 ぞうり ミニ俵 角づき 山古
志音頭 錦鯉 恋深 甘露煮 山菜そば ふるさと漬
やきそば ジュース ワンカップ わらぐつ 笠 宝船
花火 村民文化展 菊 喫茶室 絵 書道 手芸 写真
生け花 金賞 銀賞 農協 漁協農家組合 生改グル
ープ 農高 キャベツ 里いも 百合 長いも カリフラワー

人口の動き ■人口 3,283人(-4) 男 1,647・女 1,636 ■世帯数 848(-2)
(61.10.31現在) ■10月中のうごき □出生2 □死亡3 □転入5 □転出8

快晴・盛況 産業まつり



▲ 9時30分、開門のテープカット

心配された天気も、雲一つない快晴。気温も上り、ポカポカの小春日和。コンディションは最高です。朝九時三十分に開門、そして花火打ち上げ。このときには、すでに待ちきれない人たちがいっぱい。役場内の駐車場も、開門時ですでに満パイ。あとは道路沿いしかありません。役場前の県道は、交通渋滞が続きます。臨時の交通整理員も「汗ダク」。

即売品の主流は、やはり農産物。大根、白菜、キャベツ。山いも、里いも、きつまいも。あづき、豆そしてレンコン。どんどん売れて行きます。良い物が安いですから当然です。

子供たちには、無料のクジと風船。そしてわたあめ・マンガ本が人気の的。どこも長い列が続いていました。

民芸品も実用向きの、ぞうり・正月用のしめなわから飾り物の、ミニ俵・宝船までとたいへん種類が多く、売れ行きは好調です。

肥育牛生産組合は、「山古志牛の牛肉」を販売。豚肉とあわせて二



▲ レンコン、山芋、大根、農産物の即売



▲ 桂谷農家組合のもちつき



▼ 山古志牛の肉大特価 1kg3,000円



▼ 民芸品クラブの自信作



▶ 風船しばり、もうツカレター



▶ 焼ソバ、おいにつられて

百キログラムを完売。組合員の奥さんたちの作る、牛丼もありました。桂谷農家組合は、会場中央でもちつきの実演。販売する粟もちが大好評。予定販売額は、すぐに達成したようです。

まつりにバザーは不可欠。バザー担当の種彦原生活改善グループは超多忙。農高の女生徒も、ウェイトレスのお手伝いです。山菜ソバがやはり主役か。焼ソバ人気は、子供たち。ワンカップも、根強い人気。まったく、テーブル・椅子が足りません。「ふるさとづけ」と銘づけた、粕づけもありました。

商工会が今年試作した新製品、鯉こくの缶詰。名づけて「恋深」食べての評判は、いかがだったでしょうか。

村民会館では、「第三回村民文化展」が開かれました。喫茶室もあります。

入口ではまず、「菊花展」二階ホールでは、各小・中学校から選ばれた、子供たちの絵・習字や、社会教育でやっている各種教室の作品（油絵・書道・写真・生け花等）が展示され、いずれも文化の日にふさわしい優秀作品で、産業まつりに花を添えています。山古志村で、これほど幅広い年齢層の老若男女が集まることがあるでしょうか。村外からも、多数のお客さんが来場されました。

この産業まつりを始めた趣旨が、「全村参加のまつりを行って、村を活性化する」というものでしたから、まずいちおうの目的は達成されたようです。

しかし、産業まつりという名のもとで、農産物の出品が二百六十三点では少なすぎるのでは。

来年からさらに充実した「山古志村のまつり」とするため、関係機関・団体で幅広く、建設的に検討を加え、まつりの輪を大きく、太く広げていただきたいと思えます。

とにかく、たいへん賑わった楽しい一日でした。参加、協力いただいた関係者のみなさん、ほんとうにごくろうさまでした。



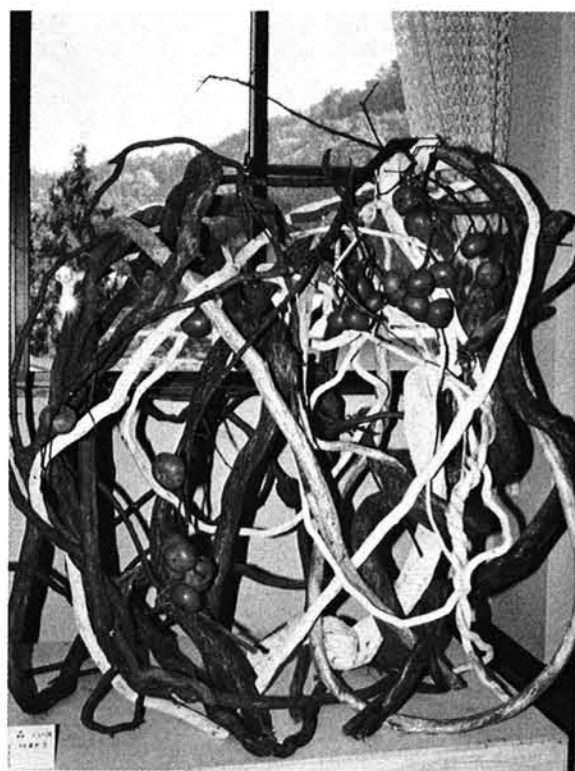
▶ 村民文化展



▶ 喫茶室、風船持って甘いコーヒー



▶ 菊花展



▶ 村民文化展に出品された竹沢小学校造形教育、共同作品

村内の肉用牛飼育頭数は五百頭(六十二年調査)で、繁殖牛も導入され、子牛の生産も年々増加して、優良肉用牛の産地化が進んでいる山古志村。

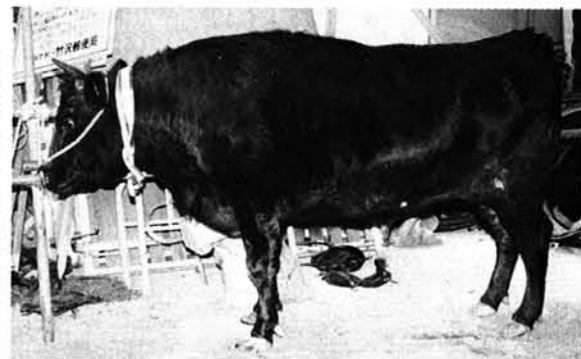
今年で七回目となる「山古志村肉用牛共進会」が、十一月五日に池谷の除雪機械庫内で開催された。

朝早くから、生産者自慢のバツチリ太めの美女・美男が続々集まり二十六頭の出場となりました。審査は、和牛の部・その他牛の部・肥育素牛の部と三部門に分けて行われ、肥育度・体形・資質等を重点に審査されましたが、いずれの牛も優秀がつけがたく、長い審査となりました。

受賞者は次のとおりです。

- ◎最優秀賞 田中勇次(虫亀) 去勢和牛
- 和牛の部 優秀賞 齊藤利行(池谷)

肉用牛共進会 26頭出場



▶最優秀賞の去勢和牛 優良賞

上田鉄五郎(木龜) 小池忠桂(中博) 畔上完(二橋) 木田中博(中博) 高橋富作(桂谷)

- その他牛の部 優良賞 齊藤松太郎(池谷)
- 肥育素牛の部 優秀賞 齊藤利行(池谷)
- 優良賞 関正史(梶金)

関正史(梶金) 齊藤利行(池谷) 審査後、中越農政事務所・北村畜産課長の講評内容は、和牛の部は、全体に優秀な牛がそろっている。しかし、四・五歳と月齢がやや多い傾向にある。肉質も大切だが重量の大きい方が経済的になる。今後は、短期

間に大きくということも考えてほしい。前蹄の悪い牛がいたが、飼料効率が悪くなるので注意が必要である。

●その他牛の部は、頭数が少なかつたが、いずれも優秀な牛である。重量、肉質等の面から見てF₁(主に乳牛と和牛の一代雑種)の有利性も考えてもらいたい。

●肥育素牛の部は、肉用牛振興に子牛生産は不可欠。出場牛が、七・十四カ月齢とばらつきがあり審査が難行したが体高、体重とも和牛登録協会の標準より少し劣っている。しかし、将来大きな期待が持てる。

※新潟県は現在、牛の三つくり運動を進めているが、牛はなかなか増えていない。この中で山古志村は、飼育頭数が年々増加しており、特に繁殖経営が進んできている。将来への期待度が大いなので、いっそう頑張ってもらいたい。とのことでした。



▶最優秀賞受賞の田中勇次さん 雌牛十三頭。平均体重五百八十九キログラム。平均歩留六十パーセント、平均枝肉重量三百五十三キログラム。平均単価三千四百五十円、一頭当り平均販売価格七十二万二千円。最高価格は、九十八万三千円でした。

「牛飼いが私の人生」

齊藤カズさん 毎日農業 記録賞

毎日新聞が毎年行っている、「土に生きる農村の人々の生活体験記録」を発表する「毎日農業記録賞」



子供の中から闘牛を通して、とにかく牛が好きだったこと。そこで、小頭ながら牛を飼いはじめ、

に、齊藤カズさん(池谷)の発表した「牛飼いが、私の人生」が、みごと「地区入賞」を果たしました。齊藤さんは、女性ながら現在繁殖牛を含めた三十頭規模の健全な肉用牛経営を行っておられ、村の肉用牛飼育者の中心的な集まりである「肥育牛生産組合」にも参加し、貧欲なまでに技術向上に努めておられます。特に和牛の系統論に関しては、第一人者です。

●発表内容は 二十一歳で池谷の夫・利行さん宅に嫁ぎ、農作業の間に四人の子育てという多忙な毎日の中で、楽しみも欲しいと考えたところから始まり、

夫の理解と協力で五十一年に念願の牛舎を建設し、ファイトを燃やして多頭飼育を開始したこと。粗飼料確保に、子供たちも含め家族一丸となって頑張ったこと。働き過ぎて、健康を害し健康のありがたさを知ったことなど。

最後には、「低コストのもうかる牛飼いを目指し」現在の三十頭規模をさらに繁殖牛二十頭、肉用牛四十頭の常時六十頭規模に拡大し、大地に根を下ろした健全な肉用牛経営を確立し、長男を経営の中心にしたい。というのが主な内容です。

関正史さんも 論文受賞

新潟県内の畜産関係機関・団体全てが参加して作っている「い



がた牛三つくり運動推進協議会」で募集した、肉用牛振興に関する論文に関正史さん(梶金)が応募され、「優良賞」を受賞しました。

内容は、「肉用牛経営の安定化と発展のために」と題し、自分の経営経験から仲間づくり、そして「銘柄・山古志牛」の生産をめざす肉用牛経営はどう進むべきかを、わかりやすくまとめあげたものです。

▶関正史さん(共進会で)

稲(よいね)牛(よいし)活善(よいせい) 冬・住まいを暖かくする工夫

寒い冬がやってきましたが、ちよつとした工夫で、冬を暖かく過ごすことができます。

▶快適な室内温度の目安は

- 居間 十八〜二十二度
 - 老人部屋 二十二〜二十四度
 - 子供部屋 十六〜十八度
- 温度計を使って、小まめに管理しましょう。

▲暖房器具は、一つだけに頼らず住宅、家族構成、安全性などの条件に合わせ、組み合わせ使用とよいでしょう。

ストーブは、窓側に置いた方が空気の対流で部屋が早く暖まり、

効率的です。

▲暖かい空気を逃がさない工夫 窓には厚手のカーテンを、天井から床面まで垂らしましょう。布地は目のつまったものほどよく、暖色系の色柄が、暖かみを感じさせます。

畳の下に新聞紙を厚く敷くか、エアパッキング(菓子箱等)に入っている凸凹のもの)を利用するとよいでしょう。

ヒーターを組み込んだカーペットが出回っていますが、普通のカーペットでも、下に古毛布を敷くと暖かくなります。

▲こたつに、煉炭・豆炭の使用が多いようですが、くれぐれも中毒事故に注意しましょう。

▲寒い日こそ部屋に緑を 部屋に緑があると、気持が和らぎます。観葉植物やシクラメンの鉢などが手軽でよいでしょう。

混成バレー ボール大会

三ヶチーム優勝

今年で六年目となる「第六回山古志村混成バレーボール大会」で三ヶチームが優勝いたしました。

今年、九チームが参加して十月二十七日から十一月十四日にかけて、リーグ戦方式で戦いました。

二位は、種芋原Bチーム。

主なルールは、九人制で女子が三人以上加わることとし、大会の趣旨は「交流と健康づくり」です。

参加チーム名は(順不同)

- 種芋原A 監督 川上 克美
- ポロンポロン 小池 正瑠
- 東竹沢 五十嵐正博
- オリーブ 間野 修
- 役場 齊藤 隆
- 種芋原B 小幡 正夫
- 虫亀 松田 陽一
- 三ヶ 齊藤 直利
- プリンプリン 星野 重行

かき君



▼優勝の三ヶチーム



村内の清潔度は？

山古志中学校で ゴミを拾い 実地調査

実地調査

自分たちの住む村の中には、どんなゴミがどれくらい落ちていたのだろうか？

山古志中学校の生徒会が、文化祭のテーマの一つに取り上げました。調べるには、実際に拾ってみれば一番確実。そして文化祭にゴミを展示してみれば、ということが進み、生徒がそれぞれ自分の住む地区ごとに分かれ、地区内のゴミを集めました。

虫亀地区では、五人位で何班にも分かれて、地区内の道路沿いを



くまなく歩きました。全員軍手をはき、ビニール袋を持って拾って行きます。ジュースの缶、菓子類の袋手にある粗大ゴミは残念ながらも権利を主張されそうなのは横目で通過。それでも約二十分位で、全員が用意した袋をいっぱいにくらませました。

このゴミの量が多いか少ないかは、判断が難しいところですが、宅地付近はゴミが少なかったようです。百七十戸の地区全体からの量ですから、イワナやヤマメは疑問ですがアユはなんとか住める環境でしょうか。

商工会青年部 活動

自分たちの村は、自分たちの手で、と村おこし事業に取り組んでいる商工会青年部。

考える事も大切だが、動かなければ始まらない。と、いうことで十一月二日に二十人位参加して、荒地の草刈り、木切り、を行いました。

この用地は、東竹沢の中子原にある個人所有の土地を借りたもので、面積は約一ヘクタール。スキが生え繁っていて地形もよくわからないため、まずスキを刈り払ったのです。

この後、地形や土質を確かめたうえで、冬の間に観光的な利用方法を計画する予定だそうです。



東竹沢小学校 野沢菜の収穫

東竹沢小学校では、十一月七日に、学校の畑に植えておいた野沢菜を取り入れました。全校児童に先生も全員参加しての収穫です。

この畑は、学校裏のプールの横にある小さな畑です。この中に今まで、じゃがいも、大豆、さつまいも等を作り、今回の野沢菜が今年最後の収穫になります。全校生徒が四班に分かれ、手入れをして育ててきたものです。どの班のものもみんなそろっています。やや太りすぎで五センチメートル以上は充分あります。このため注意して抜き取らないとすぐに「ポキン」と折れてしまいます。

収穫した野沢菜は、後日子どもたちが食べる分を残し、残りは先生に買ってもらうって、児童会の費用にあてるそうです。

楽しみながら作って、とれたものはおいしく食べ、残ったものはお金になる、いいですね。



村政功労者 表彰

三人・一団体

十一月三日(文化の日)に、役場で村政功労者の表彰式が行われました。

村の発展に貢献された、三人と一団体が表彰を受けられました。

★教諭・教頭・校長として十二年間務められ、教育伸展に尽くされた。

●磯部 和三郎さん

(小千谷市) 五十七歳

★村職員として二十五年以上在職

し、村行政の発展に尽くされた。

●藤井 薫さん

(東竹沢) 五十四歳

●坂牧 宇一郎さん

(種芋原) 四十四歳

★東日本子供音楽コンクールに出

場し審査員奨励賞を受賞、また

東日本金管バンドフェスティバ

ルに参加するなど、音楽教育の

向上に尽くされた。

●池谷小学校

叙 勲

星野仲次郎さん

勲六等・瑞宝賞

昭和六十一年秋の叙勲で、竹沢

の星野仲次郎さん(七十歳)が十

一月三日付けで「勲六等・瑞宝章」を受章されました。

星野さんは、長年郵便局に務められ、竹沢郵便局長代理として職務に精励し、業績の向上に努められた功績を認められたものです。

ゲートボール 公認審判員

日本ゲートボール連合の公認審判員(三級)に次の四人が合格されました。

これは、八月と十月に柏崎と長

岡会場で行われた検定試験を受け

られ、三級審判員に認定されたも

のです。

●星野仲次郎、星野イツ、星野義

盛(以上竹沢)

坂牧銀作(種芋原) 敬称略

東竹沢小学校 校 歌

作詞 加藤次馬

作曲 浅井政尾

一 あかつきの やまなみ清く

新しい 光 生まれる

われら 光の子

峰はるか 雲の行くさえ

ひとみ輝き 希望わく

二 風そよぐ 川瀬のほとり

露浴びて 草木彩なす

われら みどりの子

茂る葉の 陰もやさしく

心豊かに 友を呼ぶ

三 山谷に 降り積む雪を

駆けゆけば 血潮わきたつ

われら 大地の子

逞しい 生命育てて

力雄々しく 丘に立つ

今年で創立十周年を迎えた東竹

沢小学校。創立は、五十二年四月。

旧梶木小学校と旧芹坪小学校が統

合し、東竹沢小学校として発足。

梶金、木籠、小松倉の中心地、山

の中に建っています。

創立後の卒業生数七十八人。

現在児童数二十八人。

東竹沢小学校教育目標

- 自ら学びとる子ども
- 力を合わせやりぬく子ども
- 進んで体をきたえる子ども

